



## 国際総合入試（仮称）の導入について

### 概要

本学では、2018 年度入試（2017 年度実施）から、グローバル人材の育成のため、国や地域、学問分野をこえたボーダーレスなグローバル社会を生き抜き、リードする意欲と資質を持った人材を人物本位で選抜する「国際総合入試」を導入します。

### 国際総合入試の導入に至った経緯

本学では、2014 年 3 月に「北海道大学近未来戦略 150」を策定しました。これは、本学が 2026 年に創基 150 年を迎えるに当たり、社会において大学が果たすべき役割の重要性を深く認識し、「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」向けて、建学以来の基本理念と長期目標を踏まえた大学改革を大胆かつ着実に進めることを決意し、2026 年に至るまでの今後 12 年間における具体的な改革戦略を示したものです。

この改革戦略に基づき、国際性豊かな人材を育成するための新たな入学者選抜の検討を始め、今回の導入に至りました。

### 国際総合入試の概要

国際的な教育プログラムとして評価の高い「国際バカロレア資格」及び国際的通用性の高い米国の共通試験「SAT」等を活用した入試を実施します。

（別紙資料参照）

### 開始時期：

2017 年度実施（入学時期：2018 年 4 月）

### その他

入学者選抜方法等の概要は、2016 年 3 月までに公表します。

### お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学アドミッションセンター副センター長（理学研究院教授）<sup>またむら</sup>喜多村 <sup>のぼる</sup> 昇  
TEL：011-706-2697（喜多村）

事務担当：学務部入試課 TEL:011-706-7480 FAX:011-706-7488 E-mail:ent-exam@jimuhokudai.ac.jp

## 北海道大学「国際総合入試（仮称）」

### 1. 趣旨・目的

本学では、2026年に創基150年の節目を迎えるに当たり、「北海道大学近未来戦略150」を2014年3月に策定し、「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」向けて大学改革を進めている。

この中で、最も重要な戦略の一つであるグローバル人材の育成のため、国や地域、学問分野をこえたボーダーレスなグローバル社会を生き抜き、リードする意欲と資質を持った人材を人物本位で選抜する「国際総合入試」を導入し、これを推進することを目的とする。

### 2. 求める学生像

大学における学修に必要な基礎学力を有するとともに、自らの探究心に基づいて設定した課題を解決することを志向し、常に創造的に行動することのできる学生を求める。例えば、国境を越えた地球環境問題や食糧資源問題等について探究し、異文化を理解・尊重しながら巧みなコミュニケーション能力を発揮してボーダーレスに活躍する意欲を持つ学生を求める。

### 3. 育成方針

入学直後から学生一人毎にメンター（教員）を配置し、ラーニングサポート部門等の協力を含めたきめ細かい支援を行う。希望者は入学時から新渡戸カレッジに所属して国際人としてのコミュニケーション能力を養い、必須要件である海外留学経験を含めて異文化学習・体験や様々なキャリアパス学修を行う。これらの取り組みを通して国や地域、学問分野をこえて活躍することのできる学生を育成する。

### 4. 導入年度

平成30年度入試

### 5. 募集人員

学部・学科等		募集人員
総合入試	文系	5名
	理系	10名

### 6. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書（IBフルディプロマ）を授与された者又は授与される見込みの者で18歳に達するもの
- (2) 日本の高等学校卒業に準ずる12年間の学校教育課程を修了した者若しく

は修了する見込みの者又はこれに準ずる者で18歳に達するもの  
ただし、米国の大学進学適性試験であるSAT又はACTのオフィシャルスコアを提出できる者

7. 入学時期

平成30年4月

8. 選抜方法等

人物、学力、語学力の3つの観点から選抜する。

人物については、自己推薦書(Personal Statement)の内容及び同内容に関する面接等により、評価する。

学力については、国際的な教育プログラムとして評価の高い「国際バカロレア」又は国際的通用性が高い米国の共通試験(SAT, ACT)により評価する。

語学力については、TOEFL等の国際的通用性の高い語学試験により評価する。